

# 病理部・病理診断科

## 1-1 構成員

平成29年3月31日現在

教授	0人
病院教授	1人
准教授	0人
病院准教授	0人
講師(うち病院籍)	0人 (0人)
病院講師	0人
助教(うち病院籍)	1人 (1人)
診療助教	2人
特任教員(特任教授、特任准教授、特任助教を含む)	0人
医員	2人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生(うち他講座から)	0人 (0人)
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員(教務職員を含む)	8人
その他(技術補佐員等)	1人
合 計	15人

## 1-2 教員の異動状況

馬場 聡、部長・病院教授、平成18年6月1日～現職  
土田 孝、副部長・助教、平成19年4月1日～現職

### 3 論文, 症例報告, 著書等

	平成28年度
(1) 原著論文数(うち和文のもの)	3編 ( 0編 )
そのインパクトファクターの合計	9.156
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0編
そのインパクトファクターの合計	0.000
(3) 総説数(うち和文のもの)	0編 ( 0編 )
そのインパクトファクターの合計	0.000
(4) 著書数(うち和文のもの)	0編 ( 0編 )
(5) 症例報告数(うち和文のもの)	1編 ( 0編 )
そのインパクトファクターの合計	2.787

#### (1) 原著論文

##### A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

論文数(A)小計  0  うち和文  0  IF小計  0.000

##### B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)

筆頭著者, 共著者: タイトル, 雑誌名, 巻, 初頁-終頁, 掲載年.	IF
1. Meguro S, Akamatsu T, Matsushima S, Kosugi I, Kawasaki H, Arai Y, Baba S, <u>Tsuchida T</u> , Shido Y, Suda T, Iwashita T. Phenotypic characterization of perivascular myoid cell neoplasms, using myosin 1B, a newly identified human pericyte marker. Hum Pathol. 62:187-198, 2017.	2.791
2. Suzuki Y, Shirai M, Asada K, Miwa S, Karayama M, Nakamura Y, Inui N, Shirai T, Hayakawa H, <u>Baba S</u> , Suda T. Utility of Macrophage-activated Marker CD163 for Diagnosis and Prognosis in Pulmonary Tuberculosis. Ann Am Thorac Soc. 14(1):57-64, 2017.	2.940

論文数(B)小計  2  うち和文  0  IF小計  5.731

##### C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

筆頭著者, 共著者: タイトル, 雑誌名, 巻, 初頁-終頁, 掲載年.	IF
1. Kusafuka K, Kawasaki T, Maeda M, Yamanegi K, <u>Baba S</u> , Ito Y, Inagaki H, Nakajima T. Salivary duct carcinoma with rhabdoid features: a salivary counterpart of pleomorphic lobular carcinoma of the breast. Histopathology. 70(2):164-173, 2017.	3.425

論文数(C)小計  1  うち和文  0  IF小計  3.425

#### (5) 症例報告

##### A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

症例報告数(A)小計  0  うち和文  0  IF小計  0.000

##### B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)

筆頭著者, 共著者: タイトル, 雑誌名, 巻, 初頁-終頁, 掲載年.	IF
1. Takagaki K, Osawa S, Ito T, Iwaizumi M, Hamaya Y, Tsukui H, Furuta T, Wada H, <u>Baba S</u> , Sugimoto K. Inverted Meckel's diverticulum preoperatively diagnosed using double-balloon enteroscopy. World J Gastroenterol. 22(17):4416-20, 2016.	2.787

症例報告数(B)小計  1  うち和文  0  IF小計  2.787

##### C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

症例報告数(C)小計  0  うち和文  0  IF小計  0.000

#### 4-1 特許等の知的財産権の取得状況

	平成28年度
特許等取得数(出願中含む)	0 件

#### 4-2 薬剤, 医療機器等の実用化, 認証, 承認, 製品化, 販売等の状況

	平成28年度
実用化, 認証, 承認, 製品化, 販売数	0 件

5 医学研究費取得状況

	平成28年度	
	件数	金額 (万円未満四捨五入)
(1) 科学研究費助成事業(文部科学省、日本学術振興会)	0 件	0 万円
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	0 万円
(3) 日本医療研究開発機構(AMED)による研究助成	0 件	0 万円
(4) 科学技術振興機構(JST)による研究助成	0 件	0 万円
(5) 他政府機関による研究助成	0 件	0 万円
(6) 財団助成金	0 件	0 万円
(7) 受託研究または共同研究	0 件	0 万円
(8) 奨学寄附金	0 件	0 万円

6 大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	(1) 国際学会	(2) 国内学会
1) 基調講演・招待講演回数	0 件	0 件
2) シンポジウム発表数	0 件	0 件
3) 学会座長回数	0 件	0 件
4) 学会開催回数	0 件	0 件
5) 学会役員等回数	0 件	0 件
6) 一般演題発表数	0 件	0 件

8 学術雑誌の編集への貢献

	(1) 外国	(2) 国内
学術雑誌編集数(レフリー数は除く)	0 件	0 件

9 共同研究の実施状況

	平成28年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成28年度
産学共同研究	0 件

11 受賞

12 新聞, 雑誌, インターネット等による報道

13 その他の業績